

平成25年度 聖籠町立図書館評価 図書館協議会【外部評価】

聖籠町立図書館協議会は、平成25年度聖籠町立図書館基礎的サービス評価（実績）及び活動評価（一次評価）に基づき、外部評価（二次評価）を行った。各委員の評価のまとめは以下のとおりである。

1、基礎的サービス評価（実績）について

① 入館者数

- ・平成25年度33,176人、平成22年度比3,644人増、前年度比1,670人増である。また平成25年度聖籠町社会教育施設使用状況一覧表によると合計人数（全体）81,097人に対し、図書館入館者数33,176人と全体の40.9%を占めている。各施設の使用状況が異なるので、単純な比較はできないが図書館利用の定着化が伺える。

② 総貸出冊数

- ・継続的な取り組みに加え、新たな取り組みも利用者目線で行われていることが数字に表れている。平成25年度の貸出点数は82,342冊、平成20年度比10,392冊増、前年度比2,181冊増である。
- ・入館者数、貸出冊数ともに毎年確実に増加しているのは大変良い。
- ・C評価もあるが、相互貸借による他館借受のため全く問題はない。逆に自館に多くの資料がある表れだと思われる。これは他館貸出が多くなっていることにも言える。しかし、裏を返せば在勤・在住者に対し、より積極的に自館資料を活用してもらえるようにアピールする必要がある。

③ 予約リクエスト件数

- ・予約リクエストは前年度比112%、AA評価となっている。これは予約やリクエスト制度が利用者により認知されるようになった表れである。

④ レファレンス件数（所蔵調査）

- ・レファレンス件数は前年度比96%、B評価となっているがこれも利用者のニーズにより変動するので問題はないと思われる。しかし、今後も利用者が気軽に尋ねられる体制が必要と考える。カウンターで声を掛けやすい雰囲気や掲示など（レファレンスでこんなことが尋ねられる等 - 利用者の質問事例の紹介）も必要である。また、所蔵調査においても同様なことが言える。

⑤ 文献複写（コピーサービス）

- ・前年度比－164 件であるが、利用者のニーズによって変動するため利用動向に問題は無い。（※実績評価せず）

⑥ 有効登録者数

⑦ 登録率

- ・A 評価となっており、問題は無いができれば有効登録者数と登録率の一層の向上に努めて頂きたい。
- ・登録者及び利用者数の向上において、積極的な広報活動が今一つ見えない。
- ・人口増の聖籠町であるが、0 歳児を含めた子どもたちの登録率が低い。
- ・保育園、こども園との連携を深めるとともに積極的に図書館利用を働きかける活動を展開すべきである。
- ・来館を待つだけでなく、様々なイベント等を仕掛けて欲しい。
- ・中学生の登録率が特に少ないが、登録率及び利用を向上させて欲しい。

<提案・要望>

- ・積極的な広報活動（登録率の向上・促進）
- ・積極的な図書館活動の展開（各種イベントの開催）

⑧ 開館日

- ・平成 25 年度は旧図書館最後の年度となり、感慨深いものがあつた。また、平成 26 年 4 月からの閉館（新図書館開館準備）を考慮し、例年行っている図書整理期間（2 月）を設けず、継続開館をしたことにより前年度より 9 日間、開館日数が増えたが、その配慮には感謝したい。今後も、このような利用者の立場を考えた柔軟な体制と運営を望む。

2、活動評価について

① 調査・相談（レファレンスの）充実

- ・1 次評価はB評価としているが、数値実績を踏まえてのB評価だと思われる。しかし、他県図書館との相互貸借（借受）もあり、レファレンスサービスの充実に努めていることが伺えるのでより評価したい。
- ・レファレンス・リクエストなど調査・相談業務の職員対応は良い。
- ・相互貸借（貸出）は、他県を含め圧倒的な貸出数である。このことは、資料充実の面において聖籠町立図書館が、大変恵まれていると理解できる。

<提案・要望>

- ・レファレンス（調査・相談業務）の事例紹介

- ・レファレンスサービスを気軽に受けられる体制づくり
- ・利用者へのレファレンスサービスの周知徹底

② 利用しやすい環境づくり

- ・A評価となっており、「見出し」「書架サイン」等の充実で利用しやすい環境となっている。シニア世代の利用が増加しているが、その世代に向けたサービスは特段見当たらない。
- ・貸出が落ち込んでいる年齢層（15~29才）、特に男性への積極的な働き掛けが必要である。
- ・「書架サイン」の工夫、「テーマ展示」「コーナー展示」は、狭隘な図書館内において十分な取り組みが見られた。
- ・年48回の「テーマ展示」、「コーナー展示」、「今日は何の日」、そして、見やすい「書架サイン」など入館者が利用しやすい環境を整えるだけでなく、新鮮な印象を与えている。
- ・『社会教育だより』の「図書館のページ」では、町民の皆さんに様々な角度からのアピールがあり良い。
- ・狭隘な図書館ではあるが、職員の努力により入館者数、貸出冊数の増加につながっていると考える。
- ・利用者サービスを継続することで「図書館に行けば必ず相談できる」という安心感、信頼感につながる。
- ・図書館を利用しない人に対しても、「いかに図書館に足を運ばせるか＝足を運びたくなる」等魅力ある図書館づくりが、利用者拡大に繋がれることを期待したい。
- ・高齢者をはじめとした利用しやすい環境づくりへの取り組みは、旧図書館の設備的な制限に加え、新図書館移行準備の関連もあったが、それを補う職員の努力で利用、貸出増につながったことも評価したい。
- ・図書館に足を運ぶと、以前にも増し、館内は活気があり「展示」「特集」等から得る情報や本との出会いがあり、嬉しくも有難いものだった。
- ・平成25年度は、新図書館建設と開館準備が並行する図書館業務の為、多忙を極めたと思われる。しかし、カウンター業務はいつも職員の笑顔で気持ちよく利用することができた。

<提案・要望>

- ・「おすすめ本」や「テーマ展示」「貸出ランキング」など
- ・貸出が落ち込んでいる年齢層への積極的な働き掛け

③ 乳幼児サービス、児童サービスの推進

- ・平成 25 年度は、新図書館への期待が大きく膨らみ、学校でも子どもたちや職員、保護者からも新図書館に対する質問を受けた。子どもたちは読書に興味・関心をもち、豊かな情操を育み、学力の向上に結びついていると考える。
- ・町立図書館は教育現場とのつながりを重要視し、子どもたちが本に親しむための諸事業を展開している。このことが子どもたちの読書習慣の形成に大いに役立っている。
- ・移動図書館車や読み聞かせなどの事業に加え、学校図書館司書の配置、図書館と学校とを結ぶシステムなども子どもたちの読書生活の充実に役立っている。また、聖籠町立図書館が入りやすい雰囲気をもち、職員の対応が適切であると考える。このように、教育活動を充実させ、子どもたちの読書生活を活性化することに町立図書館は貢献している。
- ・乳幼児・児童サービスは、子どもたちの読書導入のきっかけとなり、親子の図書館利用増加として数字に表れているとともに、小学校巡回サービスの利用状況が昨年度より増加していることを評価したい。本を読み、更に読書の楽しさがわかる人づくりにも貢献しているので、継続を望む。
- ・1次評価ではマンネリ化との課題があるようでB評価となっているが、おはなし会等の事業では、職員のアイデアを生かした演出に歓喜する子どもたちの姿を見た。その努力を評価するとともに今後も年齢に合わせた事業の検討及び創意工夫に努めてほしい。
- ・「子ども読書活動推進計画（案）」の策定、学校図書館司書の継続的な配置を望む。
- ・図書館は「地域に根ざした暮らしに役立つ図書館」を目的としているが、聖籠町は他市町村に較べて若い世代の住民が多いので、継続的に資料（図書等）の充実を望む。
- ・児童サービスの推進では「おはなし会」に参加し、図書館を利用する子ども達が増えているのは喜ばしいことである。
- ・児童書の充実を望む。

<提案・要望>

- ・学校図書館司書の継続的な配置
- ・「子ども読書活動推進計画」（案）の策定
- ・企画事例における対象年齢だけでなく、対象世代の再検討
- ・資料の充実（特に児童書の充実）

④ 館外サービスの充実

- ・移動図書館車集落巡回サービスは平成 25 年度で終了した。次年度以降、各小

学校巡回サービス及び団体貸出の充実を望む。

- ・ 移動図書館車巡回サービスの貸出数に学校差が出ているが、良好な実績を出している学校を含め各学校の分析、特色等を検討し児童の読書動向や図書館利用の推進を望む。

<提案・要望>

- ・ 小学校への巡回サービスや団体貸出サービスの充実
- ・ 利用動向など各小学校の状況を分析し、特色を探る

⑤ その他

- ・ 第一次評価も含め“よく頑張っている”が、図書館応援団が多い協議会委員の外部評価であり多少甘くもなる。今後は利用者代表等からの全くの外部評価に変えるのが望ましい。
- ・ 平成 25 年度、職員は新図書館建設に向け、多忙（多くの会議、研修など）を極めたと思われるが、カウンターでの職員対応は変わることなく、笑顔で気持ち良く接し、図書館サービスに努めていた。新図書館では、もう少しマンパワー（司書だけでなく）が必要である。専門職を含め、人員の確保を望む。

<提案・要望>

- ・ 委員構成の再考の検討
- ・ 専門職を含めた人員の確保